

3年間のまとめ 2(6)

【1】次のデータは、A組の生徒25人とB組の生徒24人の数学のテストの結果を点数の低い順に並べたものです。

A組 25人 (単位: 点)

36, 38, 42, 45, 47, 47, 50, 50, 52, 55, 57, 68, 68, 70, 71, 73, 73, 74, 76, 79, 80, 83, 85, 88, 98

B組 24人 (単位: 点)

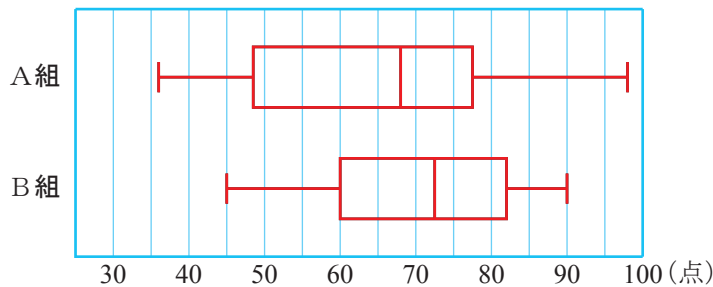
45, 47, 53, 57, 59, 60, 60, 63, 68, 69, 70, 72, 73, 75, 78, 79, 80, 81, 83, 85, 87, 88, 88, 90

(1) 各組の四分位数と四分位範囲を求め、下の表を完成させなさい。

組	数学のテストの点数(点)					
	最小値	第1四分位数	中央値 (第2四分位数)	第3四分位数	最大値	四分位範囲
A組	36	48.5	68	77.5	98	29
B組	45	60	72.5	82	90	22

(2) 各組の箱ひげ図をかき入れなさい。

【1】の復習 中2「四分位数・四分位範囲と箱ひげ図」▶



【2】右の図の、 $AD \parallel BC$ の台形ABCDで、辺ABの中点Eと、対角線ACの中点Fを通る直線が辺DCと交わる点をGとする。線分EGの長さを求めなさい。

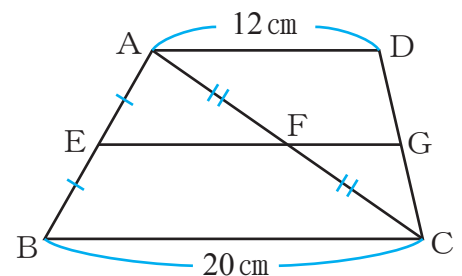
$\triangle ABC$ で、中点連結定理より、 $EF \parallel BC$, $EF = \frac{1}{2}BC = 10(\text{cm})$

$EF \parallel BC$ より、 $AD \parallel FG$

したがって、 $CG : GD = CF : FA = 1 : 1$

$\triangle CAD$ で、中点連結定理より、 $FG = \frac{1}{2}AD = 6(\text{cm})$

よって、 $EG = 10 + 6 = 16(\text{cm})$



答え 16 cm

【2】の復習 中3「相似な図形・平行線と線分の比」▶